

## 佐久市高齢者大学・大学院 10月7日(水)

佐久市高齢者大学・大学院は新型コロナウイルス感染症の影響により8月以降の講座を中断していました。この10月から再開することとなり、今年度初めて講義を行いました。

今回は堤隆先生を講師に「信濃路を歩いた山頭火」と題して、自由律俳句の俳人の種田山頭火について学びました。山口県に生まれた山頭火が佐久を旅した記録を多くの句や日記を通して触れることができました。佐久での旅行中は多くの酒をふるまっていたり、旅費を工面してもらったりして明るい句が多いとのことでした。学生・院生一同久しぶりの講座に胸躍らせました。『濁れる水の流れつつ澄む』を生涯最後の句とした山頭火、辛いことや悲しいことがあっても今を生きる高齢者の人生を通じる話で締めくくっていただきました。

感染症予防・拡大防止のため学生を半数ずつ分け、午前午後2回の講義としました。2月の閉講式まで再度中断することなく続けていくために、皆で感染症予防や健康に十分留意していきたいです。

